

飛鳥 高等学校 令和6年度（1年次用） 教科 芸術 科目 工芸 I

教科： 芸術 科目： 工芸 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1年次 1組～ 6組

使用教科書： （ 高等学校芸術科工芸 I （日本文教出版） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 工芸 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。 ○意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値観をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組みもうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			身	社						
1 学 期	【知識・技能】 ・記号について理解する 【思考・判断・表現】 ・目頃無意識に使用している形態を観察し、意識の溯上にあげる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察を元に記号化・単純化による美しさを感じ、平面表現する。	○ 工芸と自然のかかわり (1) 自然物・人工物の観察・鑑賞 (2) 観察をもとに平面表現	○		○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか  【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか  【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	2
	【知識・技能】 ・家紋の伝統と文化について学習し、その機能・美しさ・多様さを理解する。 ・知的財産権を理解し、創造性を尊重する。 【思考・判断・表現】 ・自身の特徴について考えをめぐらせ、発想・構想する。 ・単純化・変形による記号化を行い、個人紋をデザインする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・個人紋の制作を行う。	○ 個人紋 (1) 家紋について (2) 個人紋デザイン (3) 制作	○	○	○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか  【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか  【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	14
	【知識・技能】 ・平面図と立体作品について造形的に理解する。 【思考・判断・表現】 ・たたらつくりの技法について理解し制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的な技法を習得し、創造的に制作する。	○素材と技法・土でつくる (1) 陶芸について概説・鑑賞 (2) アイデアスケッチ・型紙つくり (3) たたらつくり (4) 下絵付け・施釉 (5) 鑑賞	○		○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか  【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか  【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	6
2 学 期	【知識・技能】 ・身近な生活における装飾品としての指輪を鑑賞し、デザイン・素材について理解する。 ・技法・素材・用具・手順について理解する。 【思考・判断・表現】 ・自身の興味・関心からモチーフを考え、実用と美しさを吟味して創造的にデザインする。 ・不適切な使用によって起こりうる事故を理解し、安全に作業をおこなう。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の質を高める作業を心得る。 ・素材の魅力が充分あらわれるまで研磨をおこなう。	○素材と技法・金属でつくる（鋳造・指輪） (1) 鑑賞 (2) デザイン (3) ワックスによる原型制作 (4) 雌型制作 (5) 鋳造 (6) 研磨	○	○	○	【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか  【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか  【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか	○	○	○	28
	【知識・技能】 ・身近な生活におけるカトラリーについて鑑賞し、その用途や機能、意匠の多様さ・美しさデザイン・素材について理解する。 ・木の特性を知る。 ・工具や加工法を理解する。	○工芸のかたち美と機能・木でつくるカトラリー (1) 鑑賞 (2) 図法 (3) デザイン (4) 研磨 (5) オイルフィニッシュ				【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか  【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか				











